

採卵鶏の生産性・卵殻品質・鶏群管理に関わる「飼料粒度」に焦点を当て、現場で使える知識としてまとめました。粒度の違いが鶏の行動や消化管、産卵成績に及ぼす影響を紹介します。

### 飼料の粒度

### 粒度が与える影響は？

日々の飼育管理の中で、飼料の粒度（粒の大きさ）が採卵鶏の成績に影響していると感じたことはないだろうか。粒度の違いによって鶏の食べ方や鶏群の状態が大きく変わる場面を見てきた。大きめの粒が多い飼料では、鶏がそれを好んで摂取するため、ケージ内で強い個体が先に食べてしまう傾向がある。一方で、細かい粒（微粉）が多い飼料では、鶏が十分に餌を食べなくなることがある。このように飼料の粒度は飼料摂取に影響を与える。

#### 粗い粒子が多い場合（3mm以上）

鶏群内の体重ばらつき  
エネルギー過剰  
卵重増加・産卵率が不安定  
ビタミン・ミネラル不足

#### 細かい粒子（微粉）が多い場合（1mm以下）

嗜好性が低く、飼料摂取量が低下  
エネルギー・アミノ酸不足（卵重に影響）  
筋胃の発達不良（消化率低）

### 飼料粒度と粒度分布

### 最適な飼料粒度と粒度分布の目安は？

鶏齢に応じて最適な粒度は変化する。成鶏では1～3mmの粒子を主体としたマッシュ飼料が理想的。プリレイ期以降は卵殻品質向上のために大粒の石灰石（2～4mm）が不可欠である。

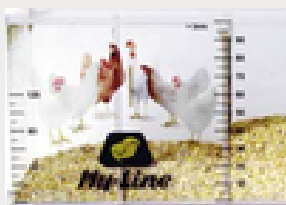


粒度の大きさ	3mm以上	2-3mm	1-2mm	1mm未満
幼すう用	5%	30%	40%	25%
中・大すう用	10%	40%	35%	15%
成鶏用-約60週齢迄	14%	43%	33%	10%
成鶏用-約60週齢以降	15%	50%	25%	10%

### 選択的摂取と対策

### 給餌システムと粒度分離

鶏は粗い粒子（トウモロコシ）を好んで食べる。細粒子に含まれるビタミン・ミネラルの摂取が不足、卵殻品質の低下を招く。2～4時間の“給餌休止時間”を設け餌トイを空にする期間を作り、細かい粒子も食べるよう誘導することが有効である。



影響	採食行動・消化・卵質・生産性に影響
粒度	粗すぎても細かすぎても問題
鶏齢	鶏齢に応じた粒度分布
システム	給餌回数・深さを調整

CODE

☎ 058-234-0777

☺ GHEN@ghen.co.jp

粒度測定を定期的に行うことが安定した生産への近道！！  
詳細に関してはこちら [G-Link Journal VOL.1](#)